

# 日本木材学会 組織と材質研究会 2012秋季シンポジウム

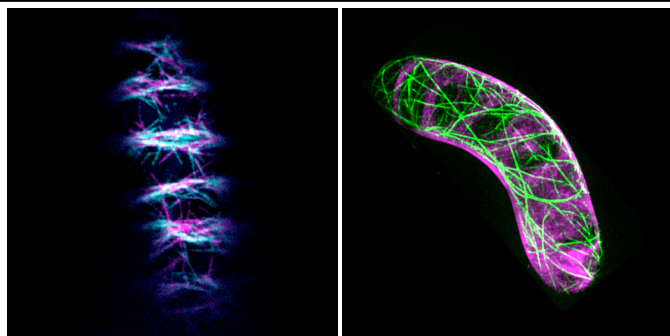
## 木材の形成機構解明に向けた 新規イメージング技術

日時 2012年9月26日(水)12~17時  
(開場11時半)

場所 東京農工大学  
府中キャンパス 2号館2-21

参加費 1,000円(要旨集代含)【学生無料】

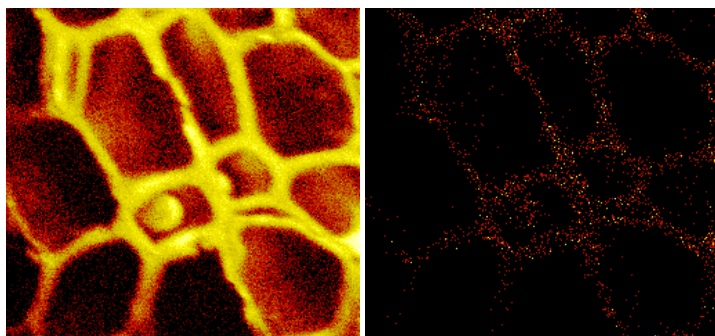
懇親会 東京農工大学50周年記念ホール  
17時半~19時半



### シンポジウム趣旨

再生可能な資源である木材を高度利用する上では、その形成機構を十分に理解することが重要であり、その中でのイメージングの果たす役割は大きい。

本シンポジウムでは、「局在」と「動態」をキーワードとして、新規イメージング技術が木材の形成機構の解明にどのように貢献するのか理解を深め、新たな展開を生み出すことを目指す。



### 講演内容

1. 免疫標識法:細胞壁成分の局在 (京都大学 高部 圭司 氏)
2. TOF-SIMS:樹木抽出成分生合成・分布の可視化 (名古屋大学 今井 貴規 氏)
3. マイクロダイセクション:微細組織におけるリグニン構造と生合成遺伝子の発現 (九州大学 堤 祐司 氏)
4. ライブセルイメージング:細胞骨格の動的挙動 (東京大学 小田 祥久 氏)
5. そろそろ分子を見ませんか?:木質細胞壁研究における一分子可視化技術の可能性 (東京大学 五十嵐 圭日子 氏)

### 参加申し込み

下記連絡先に、所属、氏名、連絡先および  
懇親会参加の有無をお知らせ下さい

シンポジウム企画担当:半 智史(東京農工大学)

E-mail: nakaba@cc.tuat.ac.jp,

Phone: 042-367-5814, Fax: 042-334-5700

詳細情報は、URL: [http://www.jwrs.org/kenkyu/wa\\_wp/resources/2012autumn\\_symposium.html](http://www.jwrs.org/kenkyu/wa_wp/resources/2012autumn_symposium.html)

Figures are courtesy of Drs. Y. Oda, T. Imai, T. Awano, Y. Tsutsumi

